

新十津川町地域公共交通活性化協議会 平成20年3月18日設置



概要

新十津川町は、少子高齢化・過疎化により路線バスの利用者は減少しており、将来、その維持が困難となることが懸念されているほか、一部地域では、1日1往復しかバスがないといった極端に公共交通が不便な状況が生じている。このため、住民の移動手段の確保や公共交通の利便性の確保を目的として、スクールバスや福祉バスへの一般住民の混乗、乗合タクシーの導入等の調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・JR札沼線（新十津川駅、下徳富駅、南下徳富駅、1日3本）
- ・（株）北海道中央バス（7路線）
- ・福祉バス（1台 毎日1方面）
- ・スクールバス（4台 3方面）
- ・石狩市の運行するバス（1日1往復）

○地域公共交通の課題

- ・路線バスの利用者の減少、収支の悪化
- ・公共交通が極端に不便な地域の存在
- ・スクールバス、福祉バスの活用
- ・生活経済の中心である隣接市へのアクセス

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査（アンケート調査）
- ・スクールバス、福祉バスの活用方策の検討
- ・乗合タクシーの導入方策の検討

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想（予定）

- ・スクールバス、福祉バスへの一般住民の混乗の検討
- ・乗合タクシーの導入の検討

